

広報

はむら

平成22年10月15日



Main Contents

- 平成21年度決算報告 1
- 意見をお寄せください
羽村市立保育園民営化ガイドライン(案) 6
- お知らせ 7

表紙の写真

音楽と踊りの祭典

第10回はむらふるさと祭りが 行われました

9月25日(土)・26日(日)に、第10回はむらふるさと祭りが行われました。

よさこいやソーランなどの踊りと音楽で、小作駅東口広場が一体となり、子どもから大人まで大いに盛り上がりました。

(写真：平成22年9月25日(土)撮影)

平成21年度 決算報告

平成21年度は、「第四次羽村市長期総合計画」後期基本計画の3か年目にあたることから、この計画の着実な進展を図るとともに、各施策予算の効率的かつ効果的な執行に努めました。

世界的経済不況に伴う市税の大幅な減収に対処するため、平成22・23年度までを見通した「羽村市緊急経済財政対策」を講じ、事業の見直しや経常的経費の節減などに全庁を挙げて取り組みました。その結果、予算に定めた事業を順調に執行し、決算の収支は5億9779万円の黒字となりました。

問合せ 財政課財政担当

平成21年度の主な事業

平成21年度は、次のような事業を行いました。

総務費：

コミュニティバス「はむらん」の運行、市公式サイト（ホームページ）のリニューアル、防犯・交通安全および火災予防推進会議の支援など

民生費：

認定子ども園への運営助成、次世代育成支援行動計画・後期行動計画の策定、生活安定化総合対策事業の支援、障害福祉サービス事業など

衛生費：

地球温暖化対策地域推進計画の策定、資源リサイクル徹底チラシの作成、妊婦健康診査に係る公費助成の拡充など

労働・農林・商工費：

魅力ある都市農業育成対策事業、羽村にぎわい商品券発行事業（第2弾）などの緊急経済対策事業、緊急就職フェアなどの雇用創出事業など

土木費：

羽村駅西口土地区画整理事業、市道第201号線（動物公園通り）の道路改修事業、市道第5045号線の道路拡幅事業など

教育費：

校務用パソコンの整備、羽村第三中学校防音機能復旧事業、二学期制の推進、小・中学校一貫教育基本計画の策定など

一般会計歳入

歳入総額は、2006億8756万円で、前年度に比べて5億4077万円（2・5％）の減となりました。

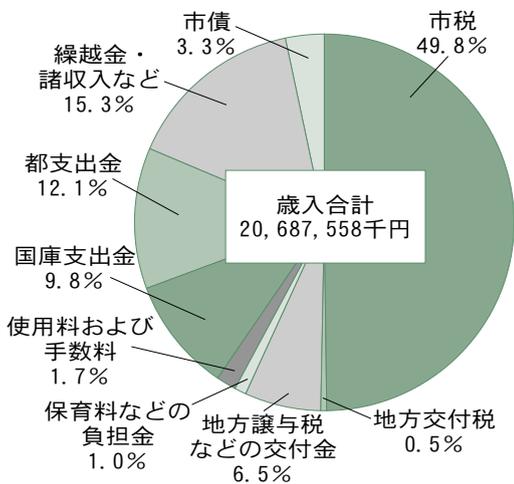
都支出金や地方消費税交付金などが増となったものの、市税および国庫支出金の減がそれ以上に大きく、前年度と比較して全体では減少しました。

主要財源である市税は、103億806万円で、前年度と比較して10億2990万円（9・1％）の減となりました。市民税個人分は、個人所得の減

少などにより6333万円（1・7％）

の減、市民税法人分についても経済不況による市内企業の業績が影響し、9億8638万円（68・4％）と大幅に減少しました。

国庫支出金は20億3439万円で、対前年度比7億60万円（25・6％）の減となりました。これはまちづくり交付金が前年度をもって終了したことや、市道第201号線道路改修事業補助金が減となったことなどによるものです。



（単位：千円・％）

▼歳入決算額前年度比較

項目	平成21年度	平成20年度	差引き	伸び率
市税	10,308,063	11,337,960	▲1,029,897	▲9.1
地方交付税（特別交付税）	100,667	65,802	34,865	53.0
地方譲与税などの交付金	1,329,499	1,395,772	▲66,273	▲4.7
保育料などの負担金	213,421	219,861	▲6,440	▲2.9
使用料および手数料	363,275	371,518	▲8,243	▲2.2
国庫支出金	2,034,393	2,734,992	▲700,599	▲25.6
都支出金	2,510,512	2,325,873	184,639	7.9
緑越金・諸収入など	3,147,728	2,253,546	894,182	39.7
市債	680,000	523,000	157,000	30.0
歳入合計	20,687,558	21,228,324	▲540,766	▲2.5

一般会計歳出

歳出総額は、200億7895万円で、前年度に比べて1億2753万円（0・6％）の増となりました。

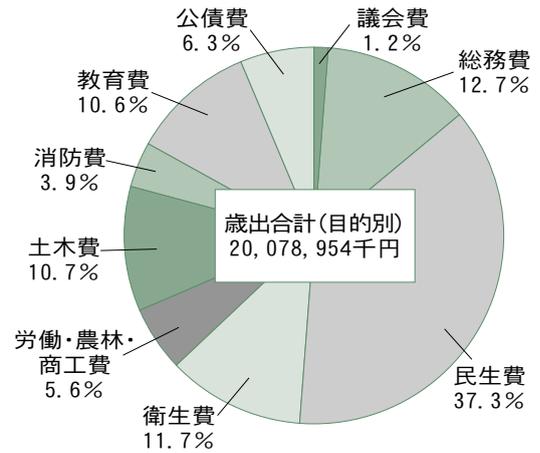
過年度分の市税還付金、生活保護費の増に加え、地域活性化・経済対策臨時交付金を財源とした事業などを増加しました。

平成 21 年度 決算報告

▼歳出決算額前年度比較（目的別）

（単位：千円・％）

項目	平成 21 年度	平成 20 年度	差引き	伸び率
議会費	236,210	235,312	898	0.4
総務費	2,552,352	2,667,993	▲115,641	▲4.3
民生費	7,478,993	7,269,622	209,371	2.9
衛生費	2,344,975	2,361,587	▲16,612	▲0.7
労働・農林・商工費	1,134,578	471,370	663,208	140.7
土木費	2,146,598	2,717,176	▲570,578	▲21.0
消防費	786,599	767,432	19,167	2.5
教育費	2,130,858	2,225,624	▲94,766	▲4.3
公債費	1,264,546	1,231,883	32,663	2.7
諸支出金	3,245	3,423	▲178	▲5.2
歳出合計	20,078,954	19,951,422	127,532	0.6



一人あたりに換算してみると：

一般会計歳出決算額200億7895万円を、市の人口5万6077人（平成22年3月末現在の住民基本台帳人口）で割ると、市民一人あたり35万8060円となります。

民生費：13万3370円

高齢の方、障害のある方、保育などの福祉の充実に

総務費：4万5515円

コミュニティの振興や行政運営に

衛生費：4万1817円
市民の健康を守ることやごみ処理などに

土木費：3万8279円

道路・公園や市街地の整備に

教育費：3万7999円

学校教育や文化・スポーツの振興に

公債費：2万2550円
市が借り入れた市債などの返済に

労働・農林・商工費：2万0233円
産業振興や消費者行政に

消防費：1万4027円
火災や地震などの災害に備えて

議会費：4212円
議会の運営に

諸支出金：58円
土地の取得などに

経済的性質別にみると：

性質別経費の主な増減要因は次のとおりです。

人件費：

委員等報酬・特別職報酬などは減となりましたが、退職組合負担金・経済組合負担金などが増となり、対前年度比で1億2574万円の増額となりました。

扶助費：

生活保護費・障害福祉サービス・義務教育就学児医療助成費・私立保育園運営費などが増となり、対前年度比で2億5192万円の増額となりました。

補助費等：

過年度分の市税還付金・定額給付金・子育て応援特別手当・福生病院組合負担金・認定子ども園運営費等補助金などが増となり、対前年度比で1億5985万円の増額となりました。

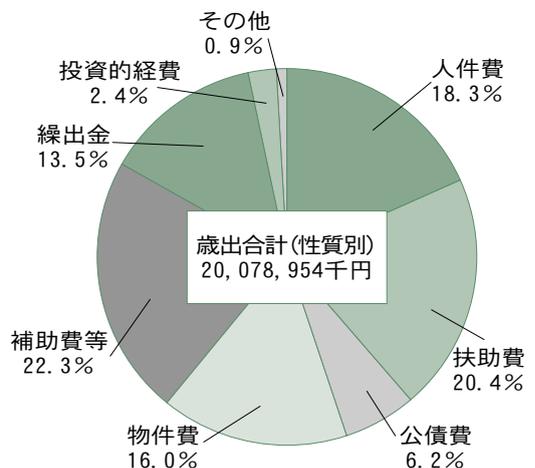
投資的経費：

市道第201号線道路改修工事・富士見公園テニスコート改修工事などを行いました。都市計画道路3・4・16号線立体交差事業などの大規模事業の終了に伴い、対前年度比で9億4509万円の減額となりました。

▼歳出決算額前年度比較（性質別）

（単位：千円・％）

項目	平成 21 年度	平成 20 年度	差引き	伸び率
人件費	3,679,935	3,554,197	125,738	3.5
扶助費	4,096,381	3,844,463	251,918	6.6
公債費	1,241,892	1,209,229	32,663	2.7
物件費	3,225,169	3,184,782	40,387	1.3
補助費等	4,469,020	3,309,171	1,159,849	35.0
繰出金	2,699,314	2,699,293	21	0.0
投資的経費	489,318	1,434,411	▲945,093	▲65.9
その他	177,925	715,876	▲537,951	▲75.1
歳出合計	20,078,954	19,951,422	127,532	0.6



基金・市債など

基金

将来のまちづくりに備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。

平成21年度末の一般会計の基金残高は、42億707万円で、前年度と比べて11億1471万円減少しました。

市では今後も、年度間の財源調整や計画事業の実現に向けて、基金を活用していきます。

市債

家庭でいう「借金（ローン）」にあたるものです。

単年度予算では賄いきれない大規模な建設事業などを行う場合に、国や金融機関などから借入れを行い、長期間にわたり返済する制度で、将来、これらの施設を利用する人にも公平に負担（後年度負担）していただく目的も含まれています。

平成21年度末の一般会計の市債残高は、110億1281万円で、前年度に比べて3億7244万円減少しました。市では今後も、財政状況に照らした借入れを行い、計画的な財政運営に努めていきます。

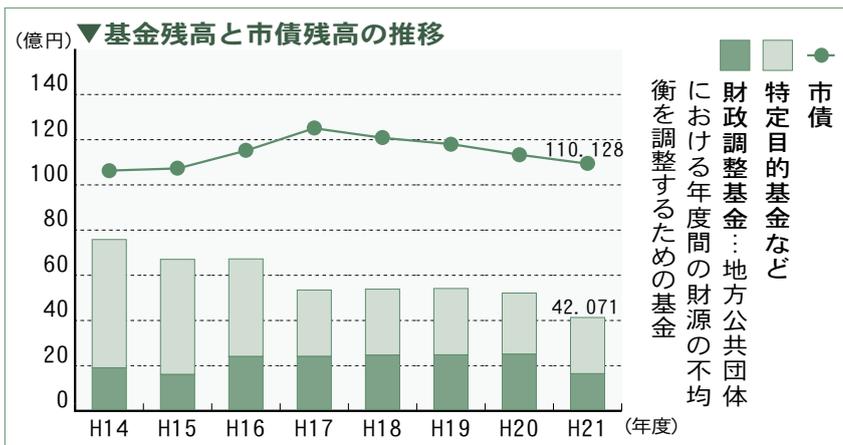
一時借入金

平成21年度は一時借入れを行いませんでした。

市民一人あたりの額は：

基金と市債の残高を、市の人口5万6077人（平成22年3月末現在の住民基本台帳人口）で割ると、

○基金 7万5023円
○市債 19万6387円 となります。



特別会計

設置している6つの特別会計では、各会計とも適切な予算執行により、黒字決算となっています。

▼平成21年度特別会計の決算状況

(単位：千円)

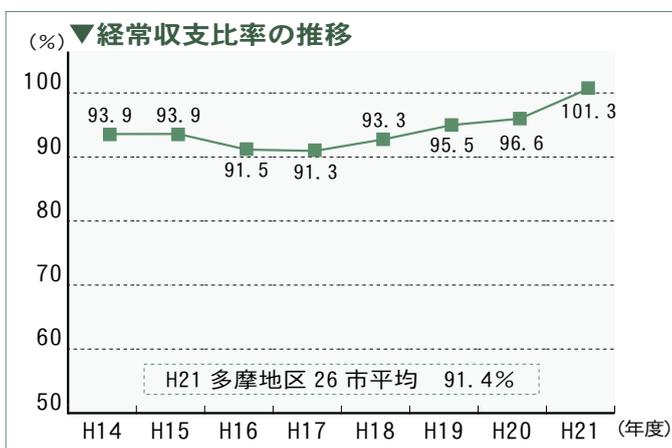
区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引き
国民健康保険事業会計	5,731,792	5,646,741	85,051
老人保健医療会計	29,084	28,109	975
後期高齢者医療会計	580,403	576,427	3,976
介護保険事業会計	2,316,008	2,228,964	87,044
羽村駅西口土地区画整理事業会計	803,242	767,727	35,515
下水道事業会計	1,516,136	1,502,348	13,788

経常収支比率

経常収支比率は、財政の弾力性を示す指標です。人件費や扶助費、公債費などの経常的経費に、市税などの経常的に収入される一般財源がどのくらい充当されるかを表す比率です。この数値が高くなると、財政の弾力性が失われると言われています。

平成21年度は前年度に対して4.7ポイント上昇し、101.3%となっています。

今後も扶助費などの経常的経費の増加が見込まれますが、行財政改革を推進し、比率の改善に努めていきます。



財政指標の状況

主な財政指標の状況は次のとおりです。